

ワークショップ実施報告書

1.開催概要

目的

新たな環境基本計画の目指すべき方向性や取組等の検討にあたって、ワークショップを通して市内の多様なステークホルダーから意見聴取し、市民に「豊田市が目指す姿(将来像)」や「将来像を実現するための環境施策」に係るアイデアを次期計画に反映させることを目的として開催する。

ねらい

新型コロナウイルス感染症の拡大が社会・経済活動に多大な影響を及ぼし、デジタル化の急速な進展、働き方や価値観の多様化など、市民を取り巻く環境は大きく変化。

このような変化のなか、市民一人ひとりが自分らしく活躍でき、人と人とのつながりを実感するなかで健康で幸せに暮らせるまちづくりが求められており、市民の暮らしに直接的に影響を及ぼす環境保全の取り組みにおいても重要なテーマといえる。

また、国の第6次環境基本計画が閣議決定され、「現在及び将来の国民一人一人のウェルビーイング／高い生活の質」の実現が環境政策の最上位の目標として掲げられた。

したがって、本ワークショップでは、環境基本計画に求められる新たな役割を踏まえ、ウェルビーイングの視点を取り入れ、市民が幸福を実感できる環境基本計画の策定に向けたアイデア等の意見を集約することをねらいとする。

1.開催概要

実施概要

5人程度の班に分かれたワークショップ形式で開催。

「豊田市が目指す望ましい将来像」、「将来像を実現するための環境施策」をテーマに班ごとで話し合う。

なお、9/1(日)開催予定であった第3回、第4回は台風10号の接近に伴い中止となった。

また、豊田市に居住する外国人を対象としたワークショップも別途開催した。

	開催日時	開催場所	参加者数	テーマ
第1回	2024年8月28日(水) 10:30～12:30	豊田市博物館 セミナールーム	10名	1.豊田市が目指す望ましい将来像 2.将来像を実現するための環境施策
第2回	2024年8月28日(水) 14:00～16:00	同上	12名	
第3回	台風10号接近に伴い中止	—	—	
第4回	台風10号接近に伴い中止	—	—	
第5回	2024年9月3日(火) 10:30～12:30	豊田市博物館 セミナールーム	10名	
第6回	2024年9月3日(火) 14:00～16:00	同上	16名	
外国人 向けWS	2024年9月14日(土) 10:30～12:30	T-FACE 多目的ホール Yスタジオ	13名	1.豊田市のよいところ 2.もっと住みやすくなるためにできること

1.開催概要

実施方法

①班分け、趣旨説明

5人程度の班で自己紹介後、ワークショップの趣旨や進め方を説明



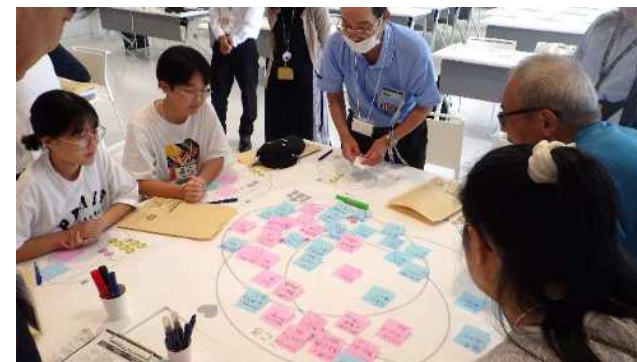
②個人ワーク

各テーマで自身の考えたことやアイデアをポストイットに書き出し



③グループワーク(発表)

各テーマで模造紙に貼りながら班で協議



④グループワーク(まとめ)

班員の多かった意見や共感が得られたアイデアを班のまとめとして模造紙に整理



⑤発表

班で話し合いを行った結果を、発表を行って他のグループと共有



⑥投票

他班の良い意見と感じたものに「投票」(シールを貼り付け)



2.ワークショップ結果

テーマ1:豊田市が目指す望ましい将来像(あなたにとって幸せを感じるまちとはどのような姿ですか?)

目的

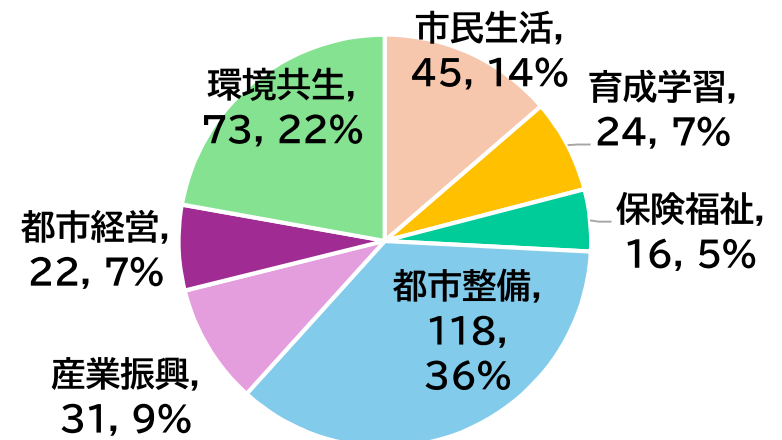
- ✓ 豊田市において「幸せを感じるところ」(満足点)や「幸せを感じないところ」(改善点)を把握する。
- ✓ 意見が出た市の満足点及び改善点を踏まえて、「幸せを感じるまちの姿」(将来像)を整理する。

方法

- ✓ 豊田市で「幸せを感じるところ」(良い点)と「不安や不満を感じるところ」(改善すべき点)を「こころ」「からだ」「社会」の視点で考えたことを、ポストイットに書き出し、個人用シートに貼って整理。
- ✓ 個人ワークで書いたポストイットを、「こころ」「からだ」「社会」に分けて模造紙に貼りながら、班で協議。
- ✓ 他の人の話を聞いて共感したら、「共感」シールを貼る。
- ✓ 班員の多かった意見や共感が得られたアイデアを班のまとめとして模造紙に整理。
- ✓ 他班の成果を見て、他班のテーマ1のポストイットへ「い

結果概要

- ✓ 計4回のワークショップを通して、計329件の意見が出された。
- ✓ 出された意見の分野としては「都市整備」(まちづくり、住宅、交通)に関する意見が最も多く、次いで「産業振興」(農林業、産業、商業、観光)が多かった。



2.ワークショップ結果

テーマ1:豊田市が目指す望ましい将来像(あなたにとって幸せを感じるまちとはどのような姿ですか?)

第1回(8/28(水)10:30~)の主な意見(共感、いいねを得られた意見) ■満足点 ■改善点

育成学習	市民の方々があたたかい
	公共の運動場など使いやすい予約がかんたん
環境共生	自然が身近にあるところ
	暑すぎるところ
	ごみの分別が難しい
	半盆地地形で夏はあつい
産業振興	マルシェがたくさんある
市民生活	人が優しい
	イベントが多くて楽しい
	地域のつながりは活発と感じる
	所々、すごく治安が悪い場所がある(例:豊田市駅周辺、陣中町)
	雑草がのびすぎ
	ハーフ、外国人への風当たりがつよい
	公園のトイレのドアを全部開放してほしい、不安・恐怖心一杯

都市経営	博物館に初めて来たが、トイレが明るすぎると思った、無駄遣い
	スタジアムが試合会場になっている時、そこに向かう人のマナーが少し悪い
都市整備	バスの本数が少ない
	車以外の交通機関が不足
	いつまでも車が手放せない
	山のほうのバスが少ない
	車の運転が荒い
	歩道が悪い
	道路工事の期間が長いと感じる
	道路の草木をもう少し整備してほしい
	自転車通路が草ボーボー(通学)
保険福祉	車中心の街すぎて公共交通機関しか発展していない(バス、電車)
	名古屋まで快速がほしい
保険福祉	老後が安心

2.ワークショップ結果

テーマ1:豊田市が目指す望ましい将来像(あなたにとって幸せを感じるまちとはどのような姿ですか?)

第2回(8/28(水)14:00~)の主な意見(共感、いいねを得られた意見) ■満足点 ■改善点

育成学習	環境系の施設、スポットは充実（学びの場）
環境共生	コンポスト事業に力を入れているところ
	自然が豊か
	コンポストの基材の入手が難しい
	猛暑時に車なくして移動可能か？
産業振興	産直産物が多い
	仕事が比較的安定している
市民生活	近所仲が良い
	若い人、外国人の人、新しく来た人との交流
	水害になったときに施設（避難場所）が決まってい
都市経営	市民の意見を政策に取り入れようとしているところ
	子どもへの支援は比較的多い気がする
	医療費高校生までタダ！
	市の施設が充実している（図書館など）

都市整備	道路や案内が整備されていて運転しやすい
	車があるとどこまでも行ける（買い物）
	住宅が増えてきた…
	中学生以上の子が遊べる場所が少ない
	近くへの移動手段がない
	車に乗れなくなった時の交通手段がない
	自転車道を作ったので自動車道が狭い
保険福祉	小中学校の給食が豪華

2.ワークショップ結果

テーマ1:豊田市が目指す望ましい将来像(あなたにとって幸せを感じるまちとはどのような姿ですか?)

第3回(9/3(火)10:30~)の主な意見(共感、いいねを得られた意見) ■満足点 ■改善点

育成学習	不登校児童に対するケアそもそも減らす
	子育てに対して各家庭にまかせてる部分が多い
環境共生	ボランティアさかん
	ちょっと車で走ると緑豊か
	自然を感じられる場所が多い
	リサイクルステーションが沢山ある
	市民活動がさかん
	自然が豊か
	暑い
産業振興	会社が多いので転職しやすい
	雇用の場がある
市民生活	地域のつながりがつよい
	おもしろい人・活動的な人が多い
	とりあえず安全で便利
	様々な地域から来た人が住んでいる
	治安がいい

都市経営	行政の生活に対する様々な援策が充実している
	財政が豊か
	公共施設がきれい
	高齢独居になってしまったらという心配
都市整備	企業間での地域の繋がりが強い
	施設や取組が充実している
	ほどほどに都会
	都心部と郊外部がバランス良くある
	インターたくさんあって便利
	遊ぶところが少ない
	大型の商業施設がびみょう
	名古屋に行くのが大変!! 電車
	交通の便がわるい
	車が必要
	レジャー施設が少ない
	鉄道が各駅停車
保険福祉	車多すぎ
	渋滞が多い
	子ども食堂がない(なくてもよい)社会
	高齢社会に対する対策おくらせてきているのではない

2.ワークショップ結果

テーマ1:豊田市が目指す望ましい将来像(あなたにとって幸せを感じるまちとはどのような姿ですか?)

第4回(9/3(火)14:00~)の主な意見(共感、いいねを得られた意見) ■ 満足点 ■ 改善点

育成学習	将来のとよたの子たちに期待したい
	体験や学習するところがたくさんある
	サークルが多い 交流館や図書館がたくさんある
	子育て支援が充実している
	人に恵まれている居場所がある
	子供を預けるところがない
	不登校ひきこもりについて相談できる場を、その活動へ支援を
	学校教育にもっと体験を、管理的に忙しすぎる
環境共生	まわりに緑や川や山があり、空気もよく住みやすい
	多分他市よりもたくさんエコカーが走っている
	自然を観光に利用できている
	都市と自然が共存している
	ぽいすてがあちこちされてていやだ！
	プラスチックゴミの多さ
	暑い
	ゴミの分別わかりづらい、、、
産業振興	環境対策 市民がおさざり
	豊田の特産物がたくさん出て来ている
	大きな企業があるため、仕事があり、安定した生活ができる
	個人のお店、商店街復活してほしい
	若者が来たいと思うことがない

市民生活	コミュニティの活動ができている
	年齢を重ねるほど三河豊田人に親近感をもつようになった
	パトカーのサイレンが夜中うるさい
	大雨ふると道が川化してしまうのなんとかしてほしい！
都市経営	財政がいい為いろんな所にお金が使われている
	情報が少ないアピール不足
	田舎では高齢化が進み今までやっていた祭などできなくなった
都市整備	家の近くに駅があるので便利
	遠くに車で出かける時、いろんな高速があって便利
	駐車場が無料
	公共施設が充実している
	今後、身体が不自由になった時は不安である
	レジャー施設が少ない
	車社会中心なので交通網がよくない
	渋滞が多い
保険福祉	町内で気軽につどえる様な場所がない（いつでも行けば誰かいるような）
	地域包括支援センターが充実していると思う
	医療的には整備されていて安心

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき?)

目的

- ✓ 将来像を実現するために、やるべきことや必要なことを整理する。

方法

- ✓ テーマ1で整理した「幸せを感じるまち(=望ましい将来像)」を実現するために、やるべきことや必要なことを、5つの環境分野でポストイットに書き出し、個人用シートに貼って整理。
- ✓ 個人ワークで書いたポストイットを5つの環境分野別に模造紙に貼りながら、班で協議。
- ✓ 他の人の話を聞いて共感したら、「共感」シールを貼る。
- ✓ 班員の多かった意見や共感が得られたアイデアを班のまとめとして模造紙に整理。
- ✓ 他班の成果を見て、他班のテーマ2のポストイットへ「いいね」シールを貼る。

結果概要

- ✓ 計4回のワークショップを通して、計261件の意見が出された。
- ✓ 分野別にみると、出された意見の分野としては、「行動共働」(77)に関する意見が最も多く、次いで「脱炭素」(56)、自然共生(52)、安全安心(41)、資源循環(37)の順となった。
(分野が重複するものは二重に計上)

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第1回(8/28(水)10:30～) 1班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
人と自然が 優しいまち	エアコンの排出水を再利用する 水まきに		●						
	水素エネルギーの活用		●						
	川で魚づかみみたいな感じでブラックバスをとる	新技術対策		●					
	外来生物捕獲マシン	新技術対策		●					
	ブラックバス回収システム バスBOX 食べる時に写メでpoint化	新技術対策		●					
	空地に木を植える			●					
暑さと共存 するまち	エアコンの温度を下げる	一人ひとりの対策	●						
	自由な時間には公共交通施設を利用する	一人ひとりの対策	●						
	遊べる水場をつくる	街づくり		●					2
	道にたくさん木を植える	街づくり				●			
	風通しを街レベルで設計する(建物形状場所を決めて補助金)	街づくり				●		1	
	体育館の集会を少なくする	やり方の工夫					●		
	リモート集会をもっと増やす	やり方の工夫					●		
	暑さがきびしくない時期に体育祭を行うようにする	やり方の工夫					●		
人と車に やさしいまち	エアコン設置か、集会を放送にする	やり方の工夫					●		
	車に必要なもの以外載せない	一人ひとりの対策	●						
	必要以外は車を利用しない	一人ひとりの対策	●						
	ちょっと小さいバスを走らせる	公共交通の改善	●						1
	バスの本数を増やす(行政の力を投入して)	公共交通の改善	●						
	電話1本でバス(おむかえ)	公共交通の改善	●						2
	鐵道を延ばす	公共交通の改善	●						
	山間部などの交通を充実させる	公共交通の改善				●			
	歩道をきれいにするために車道をきれいにするのをいったんやめる					●			1
	自転車道をしっかり作る					●			1
人と街が すてきなまち	そうじロボットの利用	ロボット技術				●			
	川のごみ自動収集マシン	ロボット技術				●			
	プラゴミからラベルを取り除く分別マシン	ロボット技術				●			
	ペットボトルからマイボトルにする	一人ひとりの対策			●				
	はかり売りをする	一人ひとりの対策			●				
	ごみ拾い、草むしりボランティアをあつめる！	一人ひとりの対策				●			
	草むしりボランティアを集める	一人ひとりの対策				●			
	各町に大きな病院		●						
	e-Sports場をつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	山間部に街をつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	インターネットでイベント配信	新しいにぎわいをつくる					●		
	イベントに来る人達をもっと若い人にするために、もっと学校などで宣伝する	新しいにぎわいをつくる					●		
	賑わいを創出するイベントを増やす	新しいにぎわいをつくる					●		
	イベントでポイントみたいなものをつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	小さなイベント学校などで宣伝する	新しいにぎわいをつくる					●		
	市駅に大学をつくる	新しいにぎわいをつくる					●	1	
	子どもと老人の遊べる所	新しいにぎわいをつくる					●	1	

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第1回(8/28(水)10:30～) 2班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
自然が豊かで整備された街 (道路、公共交通)	ハイブリッド車の普及		●					1	
	早くガソリン自動車をなくす		●						
	街路樹を増やす			●					1
	水田をなるべく減らさない			●					
	アウトドア体験がたくさんできるまちとしてPR	PR・情報		●					
	地域に生息している生き物たちを紹介するポスターでイベントをして自然共生の意識を高める	PR・情報		●				1	1
	紙おむつのリサイクル事業をすすめる				●				
	江戸時代に学ぶSDGs				●			1	2
	スポゴミ大会				●				
	環境美化の日に川の中の草より自転車歩行者道を整備する				●				
	空飛ぶ自動車の早期運用					●			
	フリーパス制度(おいでんバス)学生と高齢者					●	●		2
	車の使用は必要最低限	自動車利用の転換					●		
	自動車の使用を減らす 乗り合わせシステム ご近所	自動車利用の転換					●		1
すごしやすい 安全な街	健康をそこなわない程度の節電		●						
	こまめ節電		●						
	まずはどういった行動が脱炭素につながるのかを呼びかけるそして人々に認知してもらう		●						
	亜臨界水 処理技術 そもそもごみを燃やさない				●				
	きびしく分別よりあいまいでもOKな分別				●				
	節度を持った資源化(リサイクルコンテナ)				●				
	小さな企業の省エネ・再資源化(主に紙)の支援				●				
	ごみ出しのルールをわかりやすくまとめたものを広報とよたなどに挟んでおく				●				
	ごみの分別をわかりやすくもっとPRする(全ての人に)				●				
	リサイクルステーションでうたを流す				●				
	コミュニティ活動を盛り上げる 人とのあたたかなつながり					●			
	住んでる町内限定の免許証制度(高齢者)					●			
	歩き生活マップ	PR・情報				●		1	1
	子育て世代が地域と繋がるシステム 現況こども会から	PR・情報				●			
	歩いて行ける所に必要なものをそろえる(店・病院)	PR・情報				●			
	市内で危険なスポットがどこか共有する	PR・情報(治安も)				●			
	気軽に利用できる救護場所を設置する					●			
	PFAS汚染源(有機フッ素化合物)の除去					●			
	介護ロボットの活用(高齢者)					●	●		
	ボランティアマネジメントを広げる(例:けがと弁当は手前もち、ボス(強すぎるリーダーをつくらない)						●		
	PDCAではなくOODA(ウーダ)ループ						●		
	自転車はヘルメット着用、車は全席シートベルト着用する						●		
	熱中症防止への具体的な計測器具、まちなか治療所						●		
	毎日「打ち水」をする						●	1	
	環境にまつわるトークイベントなどを積極的に開催する	PR・情報					●		

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第2回(8/28(水)14:00～) 1班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
人と自然が 優しいまち	エアコンの排出水を再利用する 水まきに		●						
	水素エネルギーの活用		●						
	川で魚づかみみたいな感じでブラックバスをとる	新技術対策		●					
	外来生物捕獲マシン	新技術対策		●					
	ブラックバス回収システム バスBOX 食べる時に写メでpoint化	新技術対策		●					
	空地に木を植える			●					
暑さと共存 するまち	エアコンの温度を下げる	一人ひとりの対策	●						
	自由な時間には公共交通施設を利用する	一人ひとりの対策	●						
	遊べる水場をつくる	街づくり		●					2
	道にたくさん木を植える	街づくり				●			
	風通しを街レベルで設計する(建物形状場所を決めて補助金)	街づくり				●		1	
	体育館の集会を少なくする	やり方の工夫					●		
	リモート集会をもっと増やす	やり方の工夫					●		
	暑さがきびしくない時期に体育祭を行うようにする	やり方の工夫					●		
人と車に やさしいまち	エアコン設置か、集会を放送にする	やり方の工夫					●		
	車に必要なもの以外載せない	一人ひとりの対策	●						
	必要以外は車を利用しない	一人ひとりの対策	●						
	ちょっと小さいバスを走らせる	公共交通の改善	●						1
	バスの本数を増やす(行政の力を投入して)	公共交通の改善	●						
	電話1本でバス(おむかえ)	公共交通の改善	●						2
	鐵道を延ばす	公共交通の改善	●						
	山間部などの交通を充実させる	公共交通の改善				●			
	歩道をきれいにするために車道をきれいにするのをいったんやめる					●			1
	自転車道をしっかり作る					●			1
人と街が すてきなまち	そうじロボットの利用	ロボット技術				●			
	川のごみ自動収集マシン	ロボット技術				●			
	プラゴミからラベルを取り除く分別マシン	ロボット技術				●			
	ペットボトルからマイボトルにする	一人ひとりの対策			●				
	はかり売りをする	一人ひとりの対策			●				
	ごみ拾い、草むしりボランティアをあつめる！	一人ひとりの対策				●			
	草むしりボランティアを集める	一人ひとりの対策				●			
	各町に大きな病院		●						
	e-Sports場をつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	山間部に街をつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	インターネットでイベント配信	新しいにぎわいをつくる					●		
	イベントに来る人達をもっと若い人にするために、もっと学校などで宣伝する	新しいにぎわいをつくる					●		
	賑わいを創出するイベントを増やす	新しいにぎわいをつくる					●		
	イベントでポイントみたいなものをつくる	新しいにぎわいをつくる					●		
	小さなイベント学校などで宣伝する	新しいにぎわいをつくる					●		
	市駅に大学をつくる	新しいにぎわいをつくる					●	1	
	子どもと老人の遊べる所	新しいにぎわいをつくる					●	1	

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第2回(8/28(水)14:00～) 2班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
車に頼らない街	自動バス 電気で動かせば←車から利用者を増やす		●						
	なるべく自分の足で移動できるように身体を健康に保つ	街の整備と健康				●			
	シルバーカーが通る歩道(電気)	街の整備と健康				●			1
	歩きでの移動が健康ポイントにつながる	街の整備と健康				●		2	
	アスファルト、コンクリート等熱をためない素材の開発	街の整備と健康				●			1
	交通手段の豊かな市を目指してほしい	街の整備と健康					●	1	
	バス路線の充実	街の整備と健康					●		1
人との関係性のある街	外国語に対応できる人材	多様な人への支援				●			
	年をとった時助けあって生活する場所、小さなコミュニティ	多様な人への支援				●			
	エコポイントの拡充(資源→ポイント)、使える施設などを拡充する、外国人が行くところ、多いところにつくと…	多様な人への支援			●			2	2
	市民への丁寧な説明 低→脱	多様な人への支援					●		
経済的に豊かな街	農業用水の小水力発電		●					1	2
	必要のない物が多くあるので、よく考えて購入する。不要なものは買わない。	ごみ減量			●				
自然が豊かな街	小規模水力による発電(電灯空調)	自然を守りながら活かす	●						1
	地熱発電する	自然を守りながら活かす	●						
	森林を破壊する太陽光発電の禁止	自然を守りながら活かす	●						
	山のほう各家庭に小規模浄水場	自然を守りながら活かす	●						
	畑を守る大雨の時大水を一時的にためる	自然を守りながら活かす		●					
	街の公園にくだもの(防災)	自然を守りながら活かす		●					
	街路樹を増やす	自然を守りながら活かす		●					
	河川の回収、環境と防災のバランス	自然を守りながら活かす		●					
	環境保全のため、農地を保全、地下水の涵養	自然を守りながら活かす		●				1	
	生ごみ→たい肥→自分で野菜を育てる	ごみ減量			●			1	1
	ごみを出さない工夫を考え、できることを実行、ダンボールコンポストにトライ				●				1
	ごみ出しに個人の家・名前で出す				●				
	子どもへの環境教育(無関心な大人を増やさないため)	多様な人への支援					●	1	
	ラムサールの湿地についての教育(市民が知る方法)						●	1	
暑さに対応できる街	日常生活で省エネをいつも考える		●					1	
	なるべく電気を使わないようにする		●						
	文化施設へのルート確保、家ではなく子供を施設へ→空調節約(クーリングへのルート)		●						
	地産地消			●					

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第3回(9/3(水)10:30～) 1班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
子ども(みらいの子ども)の みらいを大切に するまち	再エネで全てまかなえる施設 エリア 豊田市らしい	まちづくり・再エネ	●						4
	FCVのバッテリー車導入発電はクリーンヤンターの再エネ		●					1	
	環境整備を自動でやってくれるロボットを開発	技術		●				1	1
	オーガニックビレッジ宣言			●				1	1
	オーガニック農家への費用支援			●					
	ごみの分別方法を画像で検索できるように	技術			●			2	
	脱プラスチック	ごみ拾い			●				
	なるべくごみを出さない	ごみ拾い			●			1	
	自宅玄関から10mのごみ拾い	ごみ拾い			●			1	
	「おたがいさま」が当たり前の社会	教育・学習					●	1	2
	全員年に1度はeco-Tで学習	教育・学習					●		1
	CNの見直し CO2は本当に悪なのか	教育・学習					●		1
	子供達へ教育、環境や資源循環充実	教育・学習					●	1	
	子供達と一緒にボランティア	ボランティア・企業の取組・つながり					●		
	ボランティア+団体+企業を市がもっともっとつないでほしい	ボランティア・企業の取組・つながり					●	2	
自由に移動 できるまち	シェアカー(電気自動車)を増やす		●						
	独自の移動手段		●						1
	自動運てんのEVバスが町じゅうをぐるぐる		●					2	1
	空とぶ車？					●		3	3
子供どもが 参加する場所・ 施設・機会が あるまち	暑さを防げる緑の公園	暑さ対策		●				2	1
	屋内で涼しく子どもが遊べる施設→ロボットや映像を利用 技術	暑さ対策		●					
	農業体験	暑さ対策		●					
	環境活動に積極的に参加できる制度	環境への取組を評価					●	1	
	環境にやさしい製品・サービス・企業評価 仕組み	環境への取組を評価					●		3
	子どもの時から環境の問題を触れ合える施設を増やす						●	1	

テーマ2: 将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき?)

第3回(9/3(水)10:30~) 2班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
自然豊かなまち	外来種自動駆除	豊田の自然を活かした地域づくり		●					
	森林の保護で環境を守る	豊田の自然を活かした地域づくり		●					
	自然を保護する人を育てる 高齢者の活用	豊田の自然を活かした地域づくり		●					
	ごみ分別と3Rの推進 全市民への啓蒙を図っていく				●				
	企業と市民活動団体が協力して多様性や環境改善の実現に向けた取組み						●	1	4
人にやさしいまち	生活・環境・災害対策 トータルな計画のと開発。保護を進める	豊田の自然を活かした地域づくり		●					
	田舎のお店をもっと発信して後を継ぐ人を作りたい	豊田の自然を活かした地域づくり		●				2	2
	古民家カフェ	豊田の自然を活かした地域づくり		●				1	
	小中学校を拠点とする地域コミュニティの構築	地域コミュニティの強化					●		
	人と人、人と地域の結びつきを強めていくイベント	地域コミュニティの強化					●	1	3
	高齢者の声を聞くイベント	地域コミュニティの強化					●		
	地域限定のイベントでつながりを作る	地域コミュニティの強化					●		
	イベントの広報を工夫して規模を大きく	地域コミュニティの強化					●		
	市外から来た人向けの紹介動画を市のHPにのせる	地域コミュニティの強化					●	1	
住み続けたいまち	帰宅ラッシュの渋滞を防ぐため、定時をずらす会社の取り組みをすいしょうする	新しい移動の仕組・形づくり	●					1	
	脱炭素に向けた企業の取組みが評価されるように	新しい移動の仕組・形づくり	●						
	バスの運転手が増えるようにもう少しおいでんバスの運賃を上げる	新しい移動の仕組・形づくり	●						
	車に乗らない高齢者向けに移動販売がふえる	新しい移動の仕組・形づくり	●						1
	自動運転をふやし、事故や渋滞をなくす	新しい移動の仕組・形づくり	●						
	外から移住したくなる補償制度	人が集まる施設づくり(レジャー・学校)					●	2	2
	農村部に大学	人が集まる施設づくり(レジャー・学校)					●		
	都市部を農村部のセカンドハウス	人が集まる施設づくり(レジャー・学校)					●		
	中心部に大学を作る	人が集まる施設づくり(レジャー・学校)					●	1	
	トヨタの技術をつかったレジャー施設をつくる	人が集まる施設づくり(レジャー・学校)					●	4	2
移動しやすいまち	カーシェアリングがふえる	新しい移動の仕組・形づくり	●						
	公共交通機関と車のバランスを考える	新しい移動の仕組・形づくり	●						
	新たな交通システムの開発	新しい移動の仕組・形づくり	●					1	1
	駅前の施設を充実させることで電車の利用を促進	新しい移動の仕組・形づくり	●					1	

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第4回(9/3(水)14:00～) 1班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
豊かな自然を守りつつまちなかの緑もたいせつにするまち	再エネの電気しか使わない暮らし		●						1
	山村里山を荒廃させない	山間部		●				2	2
	個人所有の森林の取組(難)	山間部		●				1	1
	空き家、店、ビルをこわして自然あふれる公園、あそびばに	まちなかの自然		●				1	
	なるべく歩道には街路樹を(日かげづくり)	まちなかの自然		●				2	2
	公共施設の緑を残していく取り組みを行政が考えていく	まちなかの自然		●				1	3
	学校にビオトープを	まちなかの自然		●					
	各自各家庭で食品ロスを考え行動する				●			1	
誰にとっても移動しやすいまち	交通機関を増やしてほしい		●					1	
	車へのいぞんを減らす		●						
	行政と企業が協力して、車を持たない人のための車貸し出しシステムや車を動かすシステムを作る	シェアカー自動運転システム開発				●			3
	自動運転の車 バスの活用	シェアカー自動運転システム開発				●			
	車はすべて自動運転 免許いらず(電気or水素)	シェアカー自動運転システム開発				●		3	1
地域の繋がりや活動が活発なまち	プラスチック商品をへらす	プラスチック製品を減らす・ごみを減らす			●				1
	プラスチック製品をつくらない・うらない・つかわない	プラスチック製品を減らす・ごみを減らす			●				
	ゴミ分別・プラスチックゴミの処分を考える	プラスチック製品を減らす・ごみを減らす			●				
	週休3日制に→余暇をたのしむ時間を増やせば幸せに	暮らし方を変える					●	1	1
	環境リーダー、ボランティアの活動支援	活動できる場					●	1	
	どういふコミュニティがあるかの知らせ	広報					●		
	地域のコミュニティや交流館等に集まれるような催し参加し考えたり提案する	参加できていない人へのアプローチ					●		
	コミュニティを検索できるシステム	参加できていない人へのアプローチ					●	3	

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき？)

第4回(9/3(水)14:00～) 2班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
誰もが移動しやすいまち	駅前の設備を充実させて電車利用を促進	交通網の充実	●					1	
	新たな移動手段の開発	交通網の充実	●					1	3
	電気自動車の貸し出し	交通網の充実	●					2	1
	バスが多くなってほしい	交通網の充実	●					2	1
	電車とbusを利用しやすくする、本数やoff券など	交通網の充実	●						1
	車を手放してもおでかけ(電車・バス)できるように	交通網の充実	●					1	
	好きな時間に乗れるようにする	交通網の充実					●	2	2
	バスの本数を増やす	交通網の充実					●	2	3
誰もが働きやすいまち	自由な時間で働く環境を増やす	企業の支援				●		2	2
	福利厚生を充実する企業に補助金	企業の支援					●		
心豊かに安心して暮らせるまち	好きなことがたくさん持てるようにする	自然を活かした場所作り		●				1	1
	自然を活かしたレジャースポーツができる環境を整備	自然を活かした場所作り		●				1	1
	森林公園がもっと使いやすくなると良い イスや休むところがあれば良い	自然を活かした場所作り		●				1	1
	回収を企業がしてほしい ビンとか？埋めるごみを少なくする				●			1	
	道路にベンチの設置	健康のための支援				●			
	高齢者にプール券 月2,3回無料配布	健康のための支援				●			

2.ワークショップ結果

テーマ2:将来像を実現するための環境に係る取組(幸せを感じるまちにするために、何をすべき?)

第4回(9/3(水)14:00～) 3班

将来像	取組	対策分類	脱炭素	自然共生	資源循環	安全安心	行動共働	共感	いいね
車生活環境の充実、移動手段の多様化	自動運転の車がふやしてっている	次世代技術の活用した交通整備	●					1	
	AIが最優な移動手段を提案	次世代技術の活用した交通整備	●					1	
	チョイソコバス予約なしで利用できる 観光地に直行バスあり	次世代技術の活用した交通整備	●						
	自動運転・空飛ぶ車などの開発とモデルシティにする	次世代技術の活用した交通整備	●					2	1
	チョイソコバスにいつでも乗れる病院、スーパー停	次世代技術の活用した交通整備	●						2
	交通網の整備 となり町に行ける	次世代技術の活用した交通整備	●						
	渋滞が多い道路が地下に移設されている	次世代技術の活用した交通整備				●			
新しい豊田市の魅力	無農薬野菜が作れる農地がふえている	地域の特性を活かした魅力づくり		●				1	
	動物園・水族館がある	地域の特性を活かした魅力づくり		●					
	風を感じ土に触れる授業を→おちばをたい肥に	地域の特性を活かした魅力づくり		●				2	
	農ある生活が出来る環境(土地、器材など)	地域の特性を活かした魅力づくり		●				1	
	地産オーガニック給食	地域の特性を活かした魅力づくり		●				1	1
	市民が一体となって参加できる環境活動。生ごみ処理施設でのたいひ化とエネルギー生産	地域の特性を活かした魅力づくり			●			1	1
	それで電気自動車をはしらせてたいひは地元の農家さんへ	地域の特性を活かした魅力づくり			●			2	
人の生活に身近な施設が充実している	脱プラ、大型スーパー、お総菜コーナーにはかり売り をおく	市民に身近に寄りそったりサイクル・ごみ処理			●			1	
	1家に1台AIコンシェルジュがいる	市民に身近に寄りそったりサイクル・ごみ処理			●			1	
	グリーンリサイクルを無料 その肥料の活用	市民に身近に寄りそったりサイクル・ごみ処理			●				
	主体性を育てる教育システムへチェンジ。・体験を教育へ・対面教育から参加型教育へ	体験・施設の充実 仕組みの工夫				●			
	生涯学習の充実、高齢者のいきがい作り	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	メタバースで里帰りできる	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	文化施設を増やす 動物園、水族館 若ものにうける	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	2	
	商店街に若者が集まるしかけを	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	豊田市ポータルサイトを作る	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	1	
	スポーツ施設をふやして健康になる ボーリング、ゴルフなど	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	1	1
	少子化による統合した学校への通学方法をシステム化	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	市政に若者、子供を学校の中で参加できる	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	1	
	地域の居場所 学校の一区に空き教室で集いの場 不登校 高齢者 見守り	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		1
	他の市へのインターンシップの仕組み化 自分の意見が市政に反映される体験	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	2	2
	バイトを授業 働くことを学ぶ	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	1	1
	高齢者もわかるデジタルシステムにする	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	職場体験施設を作る	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		
	高齢者が気軽に歌えるカラオケ施設	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●		1
	市民に聴き、実現する仕組み作り。若者が来たくな町は若者に聴く	体験・施設の充実 仕組みの工夫					●	1	

2.ワークショップ結果

総括(名古屋大学 大学院環境学研究科 三上直之教授)

- ✓ 特定の人が不便になるのではなく、誰にとってもアクセスや利用できる多様な選択肢を増やしていく意見やキーワードが多く出たのは特徴的であった。環境基本計画を策定していくうえでポイントになっていくと思う。
- ✓ AIやメタバース、気候変動等の議論があったように、長期的で不確実性な問題とどのように向き合いながらまちづくりを進めていくべきか、長期的な計画を検討していくうえで潜在的なテーマとして検討を進めてもらいたい。
- ✓ 今回のワークショップのテーマである“ウェルビーイング”視点をもって既存の市の施策を再評価していくことも必要である。



三上教授による総括の様子
(24.9.3)

2.ワークショップ結果

外国人向けワークショップの内容

【まとめ】

- ✓ 豊田市の豊富な自然を楽しむにしても、ごみを正確に出すにしても、言語の壁が高いため、市の情報の発信の仕方や市民(外国人)の受け取り方を双方に改善する必要がある。
- ✓ 各国のコミュニティにおけるSNSなどを積極的に活用して、環境に関する情報を発信できるとよい。

【個別意見】

1.豊田市のよいところ

- 都会過ぎず、とても過ごしやすい。
- 自然観察の森は、生物がたくさんいて勉強になった。70%を森林が占めており、自然豊かである。
- 自然がきれいでキャンプ場が多くてよい。毎年紅葉に行くのが楽しみだが、香嵐溪などの限られた場所にしか行っていない。市から情報発信があるとよい。市役所に依頼すれば翻訳などを対応してくれる仕組みがある。豊田市に在住している外国人に対応しようとする70か国語必要となり現実的でないと考えるため、やさしい日本語をつかってくれればわかりやすい。
- 矢作川など川がきれいである。
- 企業が豊田市のよいところに連れて行ってくれる企画やパンフレット制作を行っているが、あまり参加者が多くないのが残念。
- 出産してから市のLINEに登録したら、さまざまな情報提供があり助かっている。

2.ワークショップ結果

外国人向けワークショップの内容

1.豊田市のよいところ(前頁より継続)

- ごみの分別がしっかりしているが、冷蔵庫や洗濯機、粗大ごみなどを捨てたくなったときの方法がわからないことがある。ごみの分別もさまざまな言語に対応しているとさらにわかりやすい。
- ごみステーションのカラス対策が必要。
- 団地は7割くらい外国人であるが、ごみ講習会を企画しても参加者が少ない。誰かがなんとかしてくれるという考えの方も多い。内側から変えないといけない。

2.もっと住みやすくするためにできること

- ✓ 日本語だらけの書類を改善してほしい。転入届の手続きをする際に、ごみの出し方などの説明がもう少しあるとよい。
- ✓ さまざまなところに行きたいが、設置されている看板が日本語だらけでよくわからないのが残念。QRコードだけでも示してくれば、スマートフォンなどで調べることができる。豊田市美術館のようにさまざまな言語を選べるとよい。
- ✓ フィリピンコミュニティのFacebookを活用して、市からの環境に関する情報を発信するようにしている。1,000名くらい登録されている。
- ✓ 情報は自分にとって必要性が高まるなど、自分から得に行こうと思わなければ積極的に動かないかもしれないが、GoogleなどのAI翻訳の精度もかなりよくなっていて便利なので、活用はおすすめである。
- ✓ 危険ごみの問題があるが、色分けなどでわかりやすくなるとよい。
- ✓ 子どものころから環境の活動に巻き込むことが必要。子どもがやれば大人もついていくことになる。
- ✓ 団地内の集団清掃のときは、参加しないと駐車場が使えなくなるルールがある。
- ✓ まだ使えそうなごみは売ったり、必要な人にあげることで、出すごみは減らすことができる。

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像の設定方法～テーマ1の意見・アイデアより

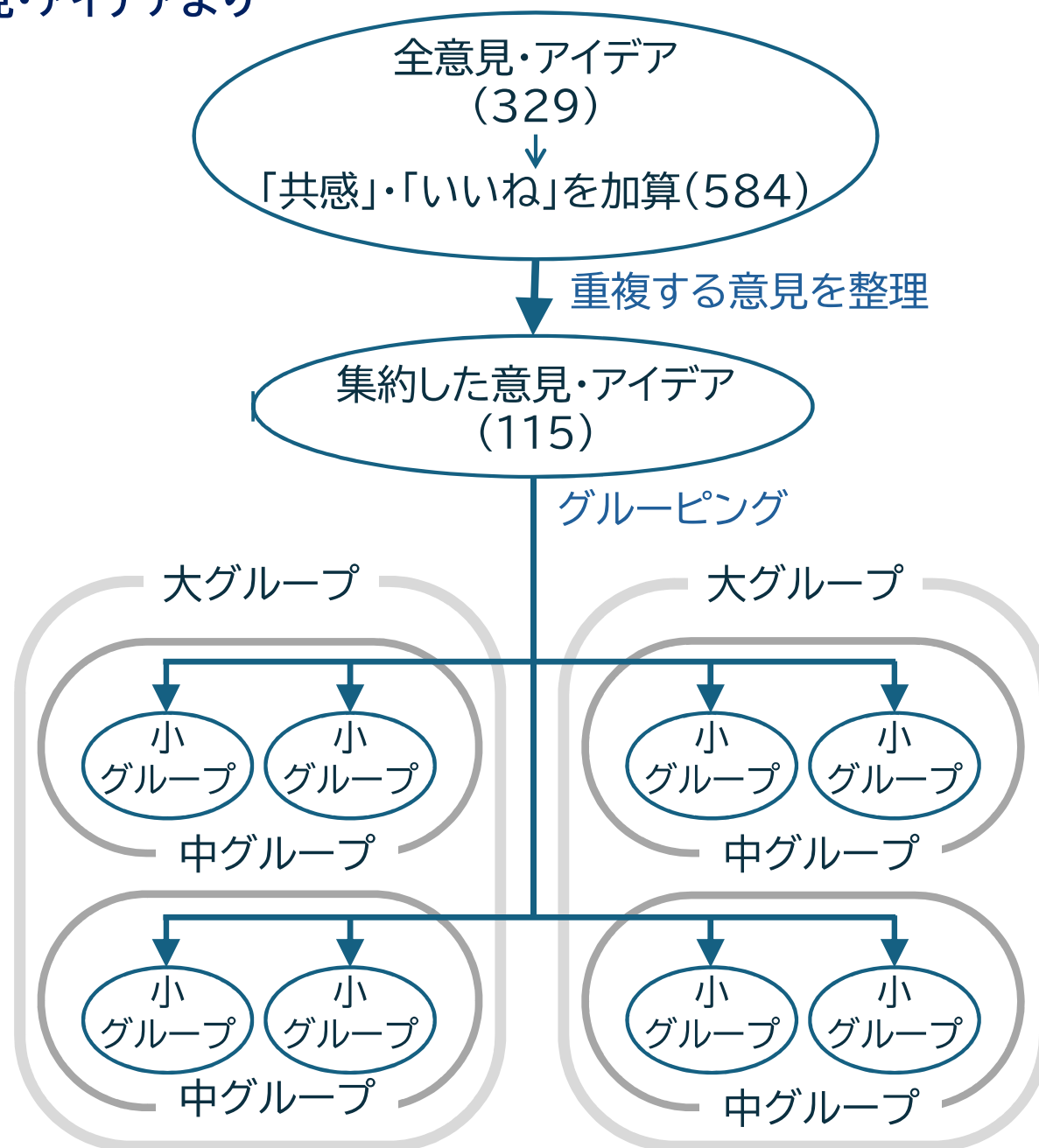
1.意見・アイデアの集約とカウント

- ・ テーマ1の結果(豊田市の良いところ、改善してほしいところ)の全意見(329)のうち、重複する意見を整理し、おおまかな意見ごとに集約する。
- ・ 「共感」「いいね」は、それぞれ1カウントとして意見の数に加算する。

※数をカウントするのは、あくまでも市民の問題意識の大きさを把握するためであり、重要度を示すものではない。

2. 集約した意見・アイデアのグルーピング

- ・ 集約した意見・アイデア(115)を共通するものを小グループに分け、さらにそれらを親近性のある中グループにまとめ、最終的に数個の大グループに分類する。
- ・ 大グループ、中グループを目指すべき将来像やテーマとして設定する。



3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像の設定方法～テーマ1の意見・アイデア集約結果

大項目1 「環境共生」に分類された意見(集約)

意見(集約)	意見数	総数	小項目(33)	中項目(9)	大項目(4)
自然豊かな地域へのアクセスがよい	2	3	身近な自然、豊かな自然	自然環境保全	環境共生
自然を感じられる場所・施設・機会がある	5	8	自然環境の活用	自然環境と人の関わり	環境共生
身近に豊かな自然がある	15	19	身近な自然、豊かな自然	自然環境保全	環境共生
もっと緑を増やしてほしい	1	1	身近な自然、豊かな自然	自然環境保全	環境共生
開発により自然環境が悪化した	2	3	人為的な影響	自然環境保全	環境共生
外来種が増えている	1	1	生物多様性	自然環境保全	環境共生
生物の多様性が少ない	2	2	生物多様性	自然環境保全	環境共生
野生生物の棲みかがある	3	3	生物多様性	自然環境保全	環境共生
環境教育の場や機会がある	4	7	環境教育	自然環境と人の関わり	環境共生
子どもたちの環境教育が重要	2	3	環境教育	自然環境と人の関わり	環境共生
環境教育の場や機会が少ない	1	2	環境教育	自然環境と人の関わり	環境共生
市民参加型の環境行政ができていない	1	2	環境行政、市民参加	自然環境と人の関わり	環境共生
市民参加型の環境行政ができている	1	2	環境行政、市民参加	自然環境と人の関わり	環境共生
行政が環境政策に前向きである	1	1	環境行政、市民参加	自然環境と人の関わり	環境共生
夏の暑さが厳しい	8	19	夏の暑さ	気候変動・災害	環境共生
夏の暑さが厳しく、これまでと同じ生活を送るのが難しい	4	5	夏の暑さ	気候変動・災害	環境共生
夏の暑さ対策が必要	1	2	夏の暑さ	気候変動・災害	環境共生
災害が少ない、災害の影響が少ない	2	2	自然災害	気候変動・災害	環境共生
災害の不安(地震、川の氾濫、土砂崩れなど)	3	3	自然災害	気候変動・災害	環境共生
災害の不安(避難場所が決まっていない)	1	2	自然災害	気候変動・災害	環境共生
指定避難所が少ない	1	1	避難、防災、減災	気候変動・災害	環境共生
道路の水はけが悪い、雨が降ると冠水する	2	4	避難、防災、減災	気候変動・災害	環境共生

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像の設定方法～テーマ1の意見・アイデア集約結果

大項目2 「まちづくり」に分類された意見(集約)

意見(集約)	意見数	総数	小項目(33)	中項目(9)	大項目(4)
移動手段が自動車中心になる	13	29	車社会	交通	まちづくり
移動手段が自動車中心になる(高齢になった時に不安)	4	9	車社会	交通	まちづくり
エコカーが多い	1	2	車社会	交通	まちづくり
高速道路のインターチェンジが多く便利である	6	8	車社会	交通	まちづくり
車が多く、渋滞がおきやすい	11	18	車社会	交通	まちづくり
交通の安全性が低い(道路の構造、ドライバーの運転が荒いなど)	2	4	車社会	交通	まちづくり
道路や駐車場が整備されている	6	7	車社会	交通	まちづくり
山間部へのアクセスが良い	2	1	車社会	交通	まちづくり
道路や駐車場の改善が必要	3	5	車社会	交通	まちづくり
公共交通機関の料金が安い	2	7	公共交通	交通	まちづくり
公共交通の便が良い	4	5	公共交通	交通	まちづくり
山間部への公共交通アクセスが悪い	3	6	公共交通	交通	まちづくり
電車の便が悪い(快速が無い、本数が少ない、アクセスが悪いなど)	10	16	公共交通	交通	まちづくり
バスの便が悪い(本数が少ないなど)	1	3	公共交通	交通	まちづくり
公共交通機関の便が悪い	10	21	公共交通	交通	まちづくり
徒歩での移動がしやすい	1	1	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
坂道が多く徒歩・自転車での移動がしにくい	2	2	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
自転車での移動が不便である	2	5	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
道路の管理が行き届いていない	4	9	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
道路の管理が行き届いている	1	1	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
徒歩での移動がしにくい(道路構造の問題)	3	4	徒歩・自転車での移動、ユニバーサルデザイン	交通	まちづくり
中山間地は不便なことが多い(アクセス、施設の不足など)	3	4	都市と郊外	都市基盤	まちづくり
公共施設、公共サービスが充実している	13	27	公共施設/サービス	都市基盤	まちづくり
公共施設の省エネが必要	1	2	公共施設/サービス	都市基盤	まちづくり
公共施設までのアクセスが悪い	1	1	公共施設/サービス	都市基盤	まちづくり
公共施設(公園)が少ない、減っている	2	2	公園・緑地	都市基盤	まちづくり
涼をとる水場(公園)が多くある	1	1	公園・緑地	都市基盤	まちづくり
景観を悪くしているものがある(電線電柱など)	1	1	住環境	都市基盤	まちづくり
住環境に恵まれている(静か、落ち着いている)	1	1	住環境	都市基盤	まちづくり
住環境に恵まれている(自然環境が近くにある)	7	18	住環境	都市基盤	まちづくり

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像の設定方法～テーマ1の意見・アイデア集約結果

大項目3 「暮らし」に分類された意見(集約)

意見(集約)	意見数	総数	小項目(33)	中項目(9)	大項目(4)
ごみが多い	2	5	ごみの量	ごみ	暮らし
ごみが少ない	1	1	ごみの量	ごみ	暮らし
ごみ削減の取組の拡充が必要である	1	1	ごみの量	ごみ	暮らし
ごみ回収施設へのアクセスが良い	1	2	ごみ分別・収集・回収	ごみ	暮らし
ごみの分別が分かりづらい	3	7	ごみ分別・収集・回収	ごみ	暮らし
ごみの分別をもっと細かくすべき	1	3	ごみ分別・収集・回収	ごみ	暮らし
ごみ分別、ごみ捨てのルールが守られていない	3	4	ごみ分別・収集・回収	ごみ	暮らし
ごみ回収施設へのアクセスが悪い	1	1	ごみ分別・収集・回収	ごみ	暮らし
コンポスト事業が盛んである	1	2	コンポスト事業	ごみ	暮らし
コンポスト事業がやりにくい(材料の入手)	1	3	コンポスト事業	ごみ	暮らし
医療サービスが充実している	3	3	医療・福祉	行政サービス	暮らし
医療施設へのアクセスが悪い	1	1	医療・福祉	行政サービス	暮らし
高齢者向けの支援・サービスが充実していない	2	4	医療・福祉	行政サービス	暮らし
高齢者向けの支援・サービスが充実している	2	7	医療・福祉	行政サービス	暮らし
老後が心配(健康、経済、コミュニティなどの問題)	1	1	医療・福祉	行政サービス	暮らし
学校教育が充実している(設備、教育カリキュラム)	3	7	学校・教育	行政サービス	暮らし
学校教育が充実していない(設備、教育カリキュラム)	3	7	学校・教育	行政サービス	暮らし
子育て支援・サービスが充実していない	2	7	子育て	行政サービス	暮らし
子育て支援・サービスが充実している	4	7	子育て	行政サービス	暮らし
子どもが元気に育つ社会にしたい	3	5	子育て	行政サービス	暮らし
行政サービスが手厚い	2	3	行政	行政サービス	暮らし
行政の情報発信・PRが不足している	1	3	行政	行政サービス	暮らし
行政の横の連携が不足している	1	2	行政	行政サービス	暮らし
外国人やニューカマーなどが暮らしにくい状況がある、支援や交流が必要	3	5	多様な立場の人との交流・支援	地域・コミュニティ	暮らし
治安が良い	4	6	治安、マナー	地域・コミュニティ	暮らし
治安に不安がある、治安やマナーが悪い場所がある	7	12	治安、マナー	地域・コミュニティ	暮らし
近隣トラブルなどがあると聞く	1	1	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
元気で活動的な市民が多い	3	4	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
高齢者が元気で暮らしている	1	2	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
高齢になった際の困りごとや不安(健康、経済、コミュニティなどの問題)	6	7	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
自己中心的な住民が多い	1	1	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
市民の交流が活発なところと弱いところがある	1	1	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
地域住民が交流する機会がない、機会が減った	5	5	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
地域住民の人柄が良い	2	6	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
地域住民の多様性が高い	1	5	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
地域住民の交流が盛んである	5	12	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
豊田(三河)の気風や文化が好き	1	2	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
豊田(三河)の気風や文化になじめない	1	1	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
不安を感じることなく安心して暮らせる	1	1	地域、人とのつながり	地域・コミュニティ	暮らし
自分から行動できれば、楽しいことや居場所が多くある	3	5	地域活動	地域・コミュニティ	暮らし
地域活動やボランティア活動が盛んである	6	11	地域活動	地域・コミュニティ	暮らし

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像の設定方法～テーマ1の意見・アイデア集約結果

大項目4 「地域活性」に分類された意見(集約)

意見(集約)	意見数	総数	小項目(33)	中項目(9)	大項目(4)
工業も農業も盛んである	2	2	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
雇用が多い、雇用が安定している	7	16	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
雇用が少ない	1	1	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
レジャー施設が少ない	8	19	市の魅力	産業、経済	地域活性
若者にとっての魅力がない	1	7	市の魅力	産業、経済	地域活性
観光地が少ない	1	1	市の魅力	産業、経済	地域活性
企業間での地域のつながりが強い	1	5	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
財政が豊かである	5	11	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
自動車工業が盛んであるため、ゼロカーボンの達成は難しいのではないか	1	1	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
物価が安い、安定している	3	3	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
自動車工業が盛んである	1	1	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
自動車工業が盛んであるが他に産業がない	1	4	地場産業と経済	産業、経済	地域活性
駅前の商店、商業施設が充実していない	1	1	商業	産業、経済	地域活性
駅前の商店、商業施設が充実している	1	1	商業	産業、経済	地域活性
商店、商業施設が充実している	4	5	商業	産業、経済	地域活性
商店、商業施設の閉店時間が早い	1	3	商業	産業、経済	地域活性
個人商店、商店街に活気がない	2	3	商業	産業、経済	地域活性
地産地消が盛んである	4	6	農業	産業、経済	地域活性
特産物がたくさんある	1	1	農業	産業、経済	地域活性
農業が盛んである	2	2	農業	産業、経済	地域活性
有機農業に力を入れてほしい	2	2	農業	産業、経済	地域活性

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像

ワークショップ各班の将来像

第1回(8/28AM)		第2回(8/28PM)				第3回(9/3AM)		第4回(9/3PM)																							
1班		2班	1班	2班			1班	2班		1班	2班	3班																			
人と自然が優しいまち		暑さと共存するまち	人と車にやさしいまち	人と街がすてきなまち	自然が豊かで整備された街(道路、公共交通)		過ごしやすい安全な街	緑豊かでみんなが楽しめるまち	みんなが住みやすい、人が集まりやすいまち	交通の便が良いまち	市民と行政が身近なまち	車に頼らない街	人との関係性のある街	経済的に豊かな街	自然が豊かな街	暑さに対応できる街	自由に移動できるまち	子ども(みらいの子ども)のみらいを大切に するまち	子どもが参加する場所・施設・機会があるまち	住み続けたいまち	人にやさしいまち	自然豊かなまち	移動しやすいまち	豊かな自然を守りつつまちなかの緑もたい せつにするまち	誰にとっても移動しやすいまち	地域の繋がりや活動が活発なまち	誰もが働しやすいまち	心豊かに安心して暮らせるまち	車生活環境の充実 移動手段の多様化	新しい豊田市の魅力	人の生活に身近な施設が充実している

1.豊かな自然と共生するまち

- 自然環境を保全、再生する
- 自然と人の関わりをつくる
- 気候変動や災害に対応する

2.快適に生活し、移動できるまち

- 移動を脱炭素化する
- 人と車が安全に共存する
- 快適な生活環境を整備する

3.地域のつながりの中で持続可能な暮らしが定着したまち

- 資源を大切にする
- コミュニティを元気にする
- 誰一人取り残さない

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

- 地場産業を持続可能にする
- 市内で経済を循環させる
- 市の新しい魅力をつくる

意見集約結果から設定した将来像

3.ワークショップまとめ

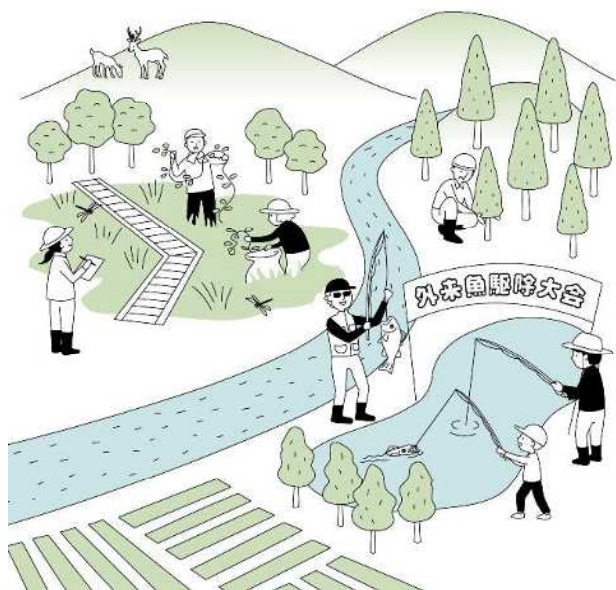
目指すべき将来像

1.豊かな自然と共生するまち

地域の豊かな自然を大切にしながら、人づくりや魅力づくりに活かすとともに、自然災害や気候変動に備える。

自然環境を保全、再生する

- 多様な自然環境や景観の保全・再生
- 生物多様性の保全

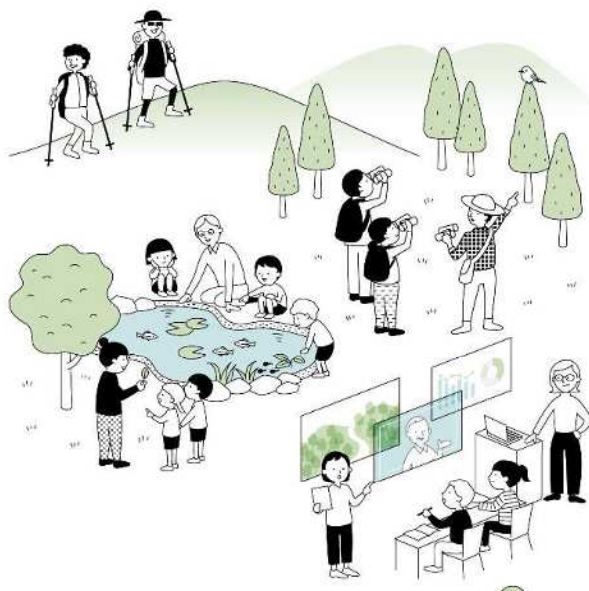


【主な意見】

- ・身近に豊かな自然がある
- ・開発により自然環境が悪化した

自然と人の関わりをつくる

- 地域の魅力創出・再発見と、自然と人をつなげる人材の育成
- 未来を担う世代の育成

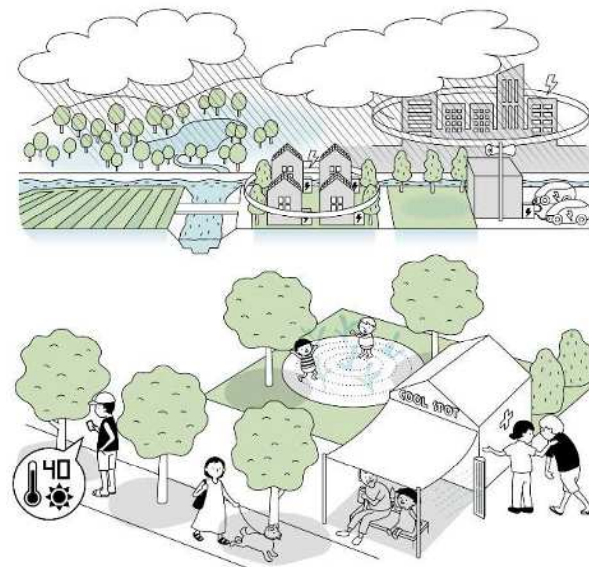


【主な意見】

- ・環境教育の場や機会がある
- ・子どもたちの環境教育が重要

気候変動や災害に対応する

- まちのレジリエンスの強化
- 災害の抑制・軽減と長期的な気候変動の緩和
- 暑さへの対策



【主な意見】

- ・災害の不安(自然災害/避難)
- ・夏の暑さ対策が必要

3.ワークショップまとめ

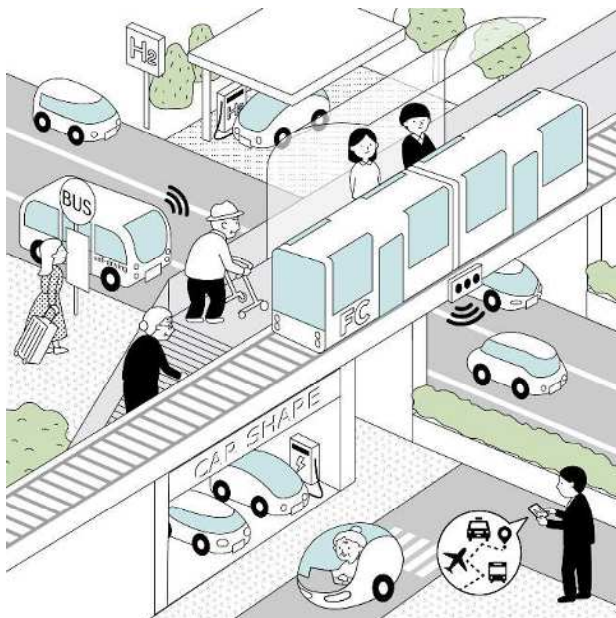
目指すべき将来像

2. 快適に生活し、移動できるまち

新技術の活用等により、都市部から郊外まで住む場所に限定されず、快適に移動し生活できる環境を整備する。

移動を脱炭素化する

- 渋滞緩和と公共交通利用の促進
- 自動車交通のグリーン化
- 移動者の利便性向上



【主な意見】

- ・移動手段が自動車中心になる
- ・公共交通機関の便が悪い

人と車が安全に共存する

- 徒歩・自転車で安全・快適に移動できる空間づくり
- 徒歩・自転車による移動の促進

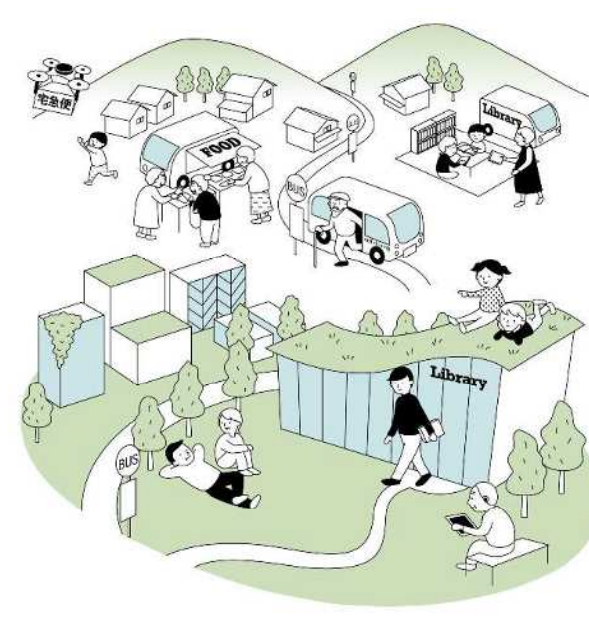


【主な意見】

- ・徒歩・自転車での移動が不便
- ・道路や歩道の管理が行き届いてない

快適な生活環境を整備する

- 便利な生活環境の整備
- 魅力ある景観づくり
- 中山間地域の生活環境の改善



【主な意見】

- ・公共施設、公共サービスが充実
- ・中山間地は不便なことが多い

3.ワークショップまとめ

目指すべき将来像

3.地域のつながりの中で、持続可能な暮らしが定着したまち

多様な世代・属性の人々がゆるやかなつながりの中で協働しながら、持続可能な暮らしやすさをつくりあげる。

資源を大切にする

- ごみの減量
- ごみの分別・収集の簡便化・効率化
- 節水、節電の徹底



【主な意見】

- ・ごみが多い
- ・ごみの分別が分かりづらい

コミュニティを元気にする

- 地域交流や市民活動の促進
- 地域の治安・マナーの改善



【主な意見】

- ・地域住民が交流する機会がない、機会が減った
- ・治安やマナーが悪い場所がある

誰一人取り残さない

- 多様な立場の人の交流・支援
- 高齢者のケアや子育て支援



【主な意見】

- ・外国人やニューカマーへの支援や交流が必要
- ・高齢になった際の困りごとや不安

3.ワークショップまとめ

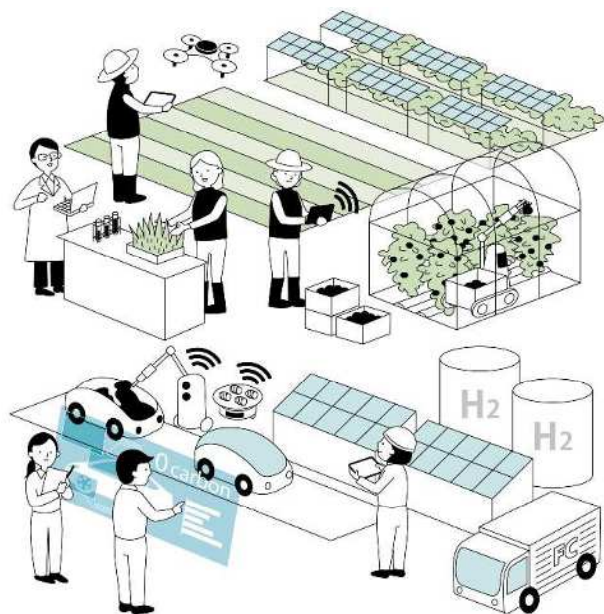
目指すべき将来像

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

豊田市の歴史・文化、産業、自然、景観などの多様な地域資源を活かして、地域の魅力を高めながら経済発展していく。

地場産業を持続可能にする

- 工業の脱炭素化
- 農業のスマート化、気候変動への対応

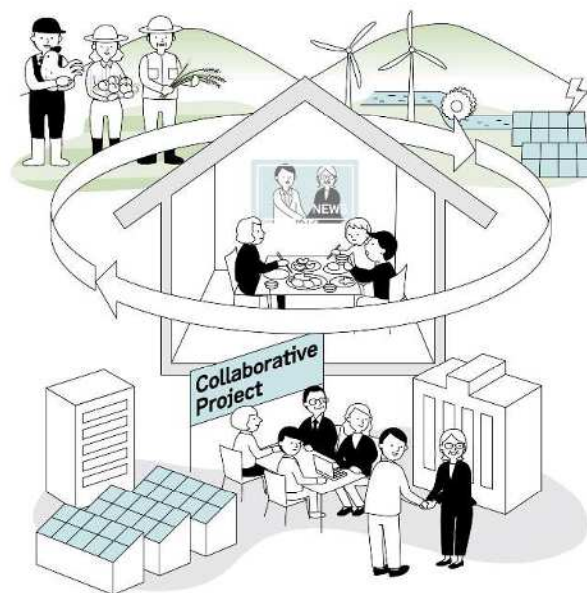


【主な意見】

- ・工業も農業も盛んである
- ・雇用が多い、雇用が安定している

市内で経済を循環させる

- 地産地消の推進
- 地域の商店・企業の活性化



【主な意見】

- ・企業間での地域のつながりが強い
- ・地産地消が盛んである

市の新しい魅力をつくる

- 地域資源を活かした新しいレジャーや観光の創出
- 交流人口の増加と広域ネットワークの形成
- 環境行政への市民参加



【主な意見】

- ・レジャー施設が少ない
- ・若者にとっての魅力がない
- ・市民参加型の環境行政ができていない

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組の整理方法～テーマ2の意見・アイデアより

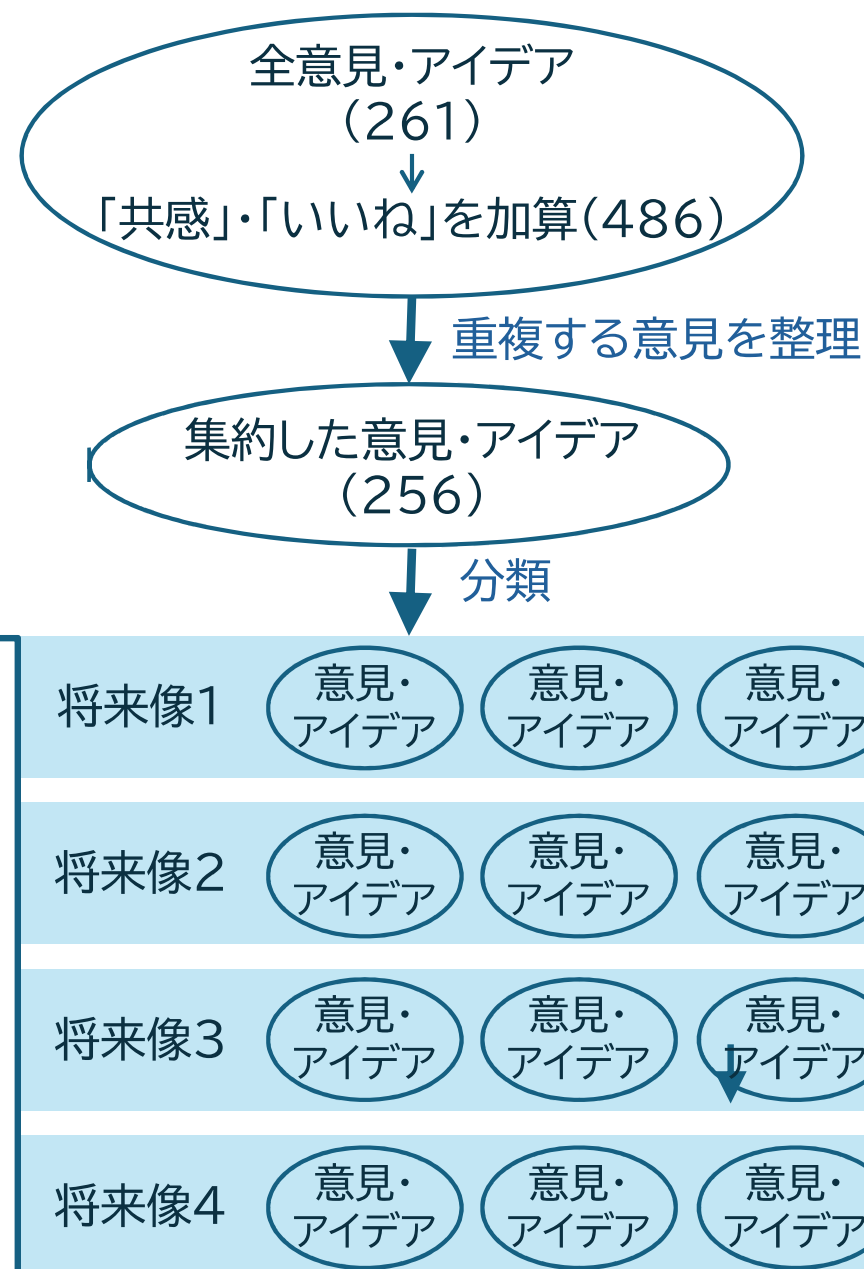
1.意見・アイデアの集約とカウント

- ・ テーマ2の全意見(261)のうち、重複する意見を整理する。
- ・ 「共感」「いいね」は、それぞれ1カウントとして意見の数に加算する。

※数をカウントするのは、あくまでも市民の問題意識の大きさを把握するためであり、重要度を示すものではない。

2. 集約した意見・アイデアを将来像に沿って分類

- ・ 集約した意見・アイデア(225)を、意見集約結果から設定した将来像に沿って分類する。



3.ワークショップまとめ

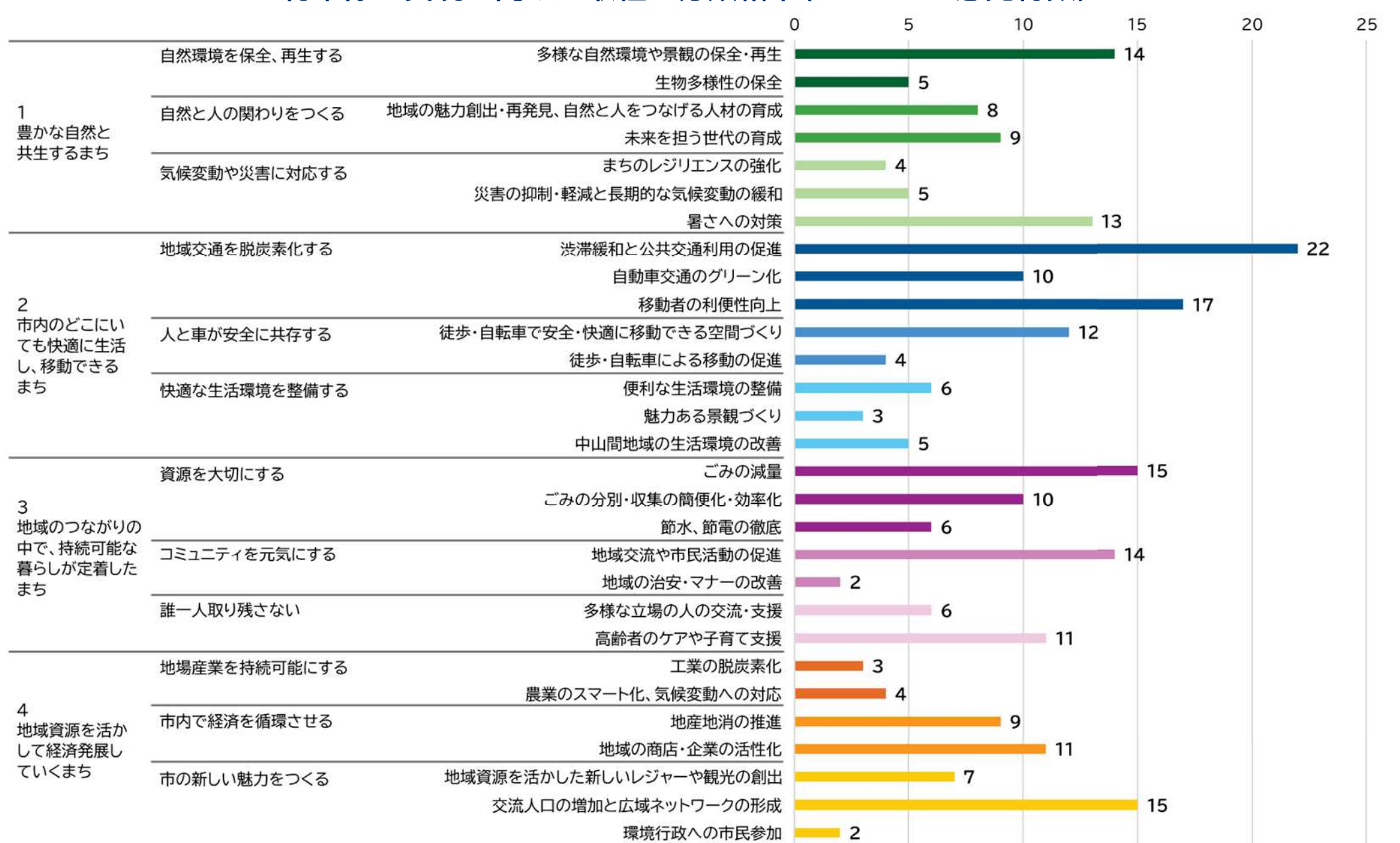
将来像の実現に向けた取組の分類結果

1. 豊かな自然と共生するまち (58)	自然環境を保全、再生する(19)	多様な自然環境や景観の保全・再生	14	
		生物多様性の保全	5	
	自然と人の関わりをつくる(17)	地域の魅力創出・再発見、自然と人をつなげる人材の育成	8	
		未来を担う世代の育成	9	
	気候変動や災害に対応する(22)	まちのレジリエンスの強化	4	
		災害の抑制・軽減と長期的な気候変動の緩和	5	
2. 快適に生活し、移動できるまち (79)	移動を脱炭素化する(49)	暑さへの対策	13	
		渋滞緩和と公共交通利用の促進	22	
		自動車交通のグリーン化	10	
	人と車が安全に共存する(16)	移動者の利便性向上	17	
		徒歩・自転車による移動の促進	12	
	快適な生活環境を整備する(14)	徒歩・自転車による移動の促進	4	
		便利な生活環境の整備	6	
		魅力ある景観づくり	3	
	3.地域のつながりの中で、持続可能な暮らしが定着したまち (64)	資源を大切にする(31)	中山間地域の生活環境の改善	5
			ごみの減量	15
コミュニティを元気にする(16)		ごみの分別・収集の簡便化・効率化	10	
		節水、節電の徹底	6	
誰一人取り残さない(17)		地域交流や市民活動の促進	14	
		地域の治安・マナーの改善	2	
4.地域資源を活かして経済発展していくまち (51)	地場産業を持続可能にする(7)	多様な立場の人の交流・支援	6	
		高齢者のケアや子育て支援	11	
	市内で経済を循環させる(20)	工業の脱炭素化	3	
		農業のスマート化、気候変動への対応	4	
	市の新しい魅力をつくる(24)	地産地消の推進	9	
		地域の商店・企業の活性化	11	
		地域資源を活かした新しいレジャーや観光の創出	7	
その他	交流人口の増加と広域ネットワークの形成	環境行政への市民参加	15	
			2	
			4	
計			256	

※複数の項目に該当する意見・アイデアは重複して計上

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組の分類結果(テーマ2の意見総数)



※複数の項目に該当する意見・アイデアは重複して計上 ※意見の総数には「共感」「いいね」の数も含む

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

1.豊かな自然と共生するまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
自然環境を保全、再生する	多様な自然環境や景観の保全・再生	✓ 山村里山を荒廃させない(5)
		✓ 公共施設の緑を残す取り組みを行政が考える(5)
		✓ 森林の保全・維持管理(個人所有の森林含む)(5)
		✓ 空地への植樹、空き地を公園に(3)
		✓ 街路樹を増やす(緑のネットワーク形成)(2)
		✓ 開発段階からの環境保全や防災に配慮する(1)
		✓ 太陽光発電による環境破壊の禁止(1)
		✓ 農地の保全(1)
	生物多様性の保全	✓ ポスターやイベントによる普及啓発(3)
		✓ 外来種(ブラックバス)の駆除のイベント化(ブラックバス回収システム(バスBOX)、食べる時に写メでpoint)(2)
		✓ ロボットによる外来種駆除(2)
		✓ 学校でのビオトープづくり(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

1.豊かな自然と共生するまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
自然と人の関わりをつくる	地域の魅力創出・再発見、自然と人をつなげる人材の育成	✓ 自然を活かしたレジャーの推進(4)
		✓ 環境リーダー、ボランティアの活動支援(2)
		✓ 農業ができる生活のための環境整備(土地、機材)(2)
		✓ ラムサール湿地に関する教育、環境学習、普及啓発(2)
		✓ 自然環境保全に携わる高齢者人材の育成、活用(1)
		✓ 市博物館の活用(自然史)(1)
	未来を担う世代の育成	✓ 子どもへの環境教育の充実(6)
		✓ 働くことを学ぶ施設や授業をつくる(4)
		✓ 若い世代が環境問題に当事者意識を持てる工夫(3)
		✓ 落ち葉をたい肥に(環境学習)(3)
		✓ eco-Tを活用した環境学習(2)
		✓ 学生のプランづくり大会(1)
		✓ 主体性を育てる教育へ、対面教育から参加型、体験型の教育へ(1)
		✓ 農業体験(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

1.豊かな自然と共生するまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
気候変動や災害に対応する	の エ レ ま 強 ン ジ ち 化 ス リ の	✓ 公園の樹木に果物(エディブル・ランドスケープ)(1) ✓ クリーンセンターでの再生可能エネルギー発電とFCV(燃料電池車)のパッカー車導入(2)
	の 気 長 制 災 緩 候 期的 害 和 変 変 減 と 抑	✓ 農地の保全による地下水の涵養(2) ✓ 環境保全や防災とバランスの取れた河川改修(1) ✓ 貯水池の確保(1) ✓ 斜面林の管理(土砂災害の防止)(1)
	暑さへの対策	✓ 新しいクールスポットづくり(公園、水辺、文化施設+新技術で子どもが楽しめる)とルートの確保(9)
		✓ 街路樹を増やす(木陰づくり)(6)
		✓ リモートの活用(3)
		✓ 熱をためない舗装材、建材の導入(2)
		✓ 風通しの良い街区設計、建築物への補助金(2)
		✓ 行事・イベントの検討(開催時期、冷房設置)(2)
		✓ 気軽に利用できる救護拠点(計測器具、診療所)(2)
		✓ 打ち水をする(2)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

2.快適に生活し、移動できるまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
移動を脱炭素化する	渋滞緩和と公共交通利用の促進	✓ 新しい交通システム・サービスの導入とモデルシティとしての活用(12)
		✓ 公共交通ネットワークの拡充(本数・路線増、乗降自由、名古屋までのアクセス改善など)(22)
		✓ カーシェア、ライドシェアの推進(行政・企業の連携)(8)
		✓ 駅周辺の施設の充実による電車利用促進(5)
		✓ バスレーンの確保(4)
		✓ 公共交通利用を促進するしかけ(本数増、割引券、フリーパス、車を手放してもよいくらいのメリット)(4)
		✓ 自動車利用の抑制(3)
		✓ 交通渋滞緩和のための勤務時間調整(2)
		✓ バス運賃の値上げ(運転手増加のため)(1)
		✓ 公共交通と自動車利用のバランスをとる(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

2.快適に生活し、移動できるまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
移動を脱炭素化する	自動車交通のグリーン化	✓ カーシェアによるEVの活用(EV)(5)
		✓ エコカーの普及(EV、FCV、ハイブリッド車等)(3)
		✓ FCV(燃料電池車)、水素エンジン車の普及(1)
		✓ エコドライブ(1)
	移動者の利便性向上	✓ オンデマンド交通(好きな時に乗れる、AIが最適な移動手段を提案など)(11)
		✓ 新技術による交通サービスの導入(空飛ぶ車など)(10)
		✓ 自動運転バス/電動バス、小型バスの市内循環(7)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

2.快適に生活し、移動できるまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
人と車が安全に共存する	徒歩・自転車 で安全・快適 に移動できる空間づくり	✓ 歩道の整備・維持管理の充実(2)
		✓ 自転車道の整備・維持管理の充実(専用レーンの確保、歩車分離)(9)
		✓ シルバーカーが移動できる歩道の整備(2)
		✓ 自動運転車の導入による事故防止(6)
		✓ 歩いて周れる拠点の整備(店舗・医療)(1)
	徒歩・自転車 による移動の促進	✓ 移動時の安全対策の徹底(ヘルメット、シートベルト)(1)
		✓ 徒歩・自転車移動のPR、普及啓発(3)
		✓ 徒歩・自転車による移動のインセンティブ(ポイントの活用)(3)
		✓ レンタサイクルの充実(1)
		✓ 徒歩移動できるように健康を維持する(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

2. 快適に生活し、移動できるまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
快適な生活環境を整備する	環境の整備 便利な生活	✓ ロボットによる環境整備や清掃(川掃除など)(5)
		✓ 公園、道路にベンチや休憩施設を設置(4)
		✓ 医療施設・拠点の充実(各町に)(1)
	魅力ある 景観づくり	✓ ボランティアによる環境美化活動(2)
		✓ イベントによる環境美化活動(スポGOMI大会)(1)
	中山間地域の 生活環境の改善	✓ 移動販売(車に乗らない高齢者向け)(2)
		✓ 中山間地域へのにぎわいの創出(1)
		✓ 中山間地域の各家庭に小規模浄水場(1)
		✓ 都心部と中山間地域の交流促進(セカンドハウス)(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

3.地域のつながりの中で、持続可能な暮らしが定着したまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
資源を大切に する	ごみの減量	✓ 事業者による廃棄物削減の取組(はかり売り、スーパーでプラスチック包装をなくすなど)(4)
		✓ プラスチック製品を減らす(4)
		✓ 江戸時代に学ぶSDGs(4)
		✓ 生ごみの回収とたい肥の活用(4)
		✓ コンポスト事業の拡充(基材入手、たい肥回収)(3)
		✓ 食品ロスの削減(各家庭での取組)(2)
	ごみの分別・収集の 簡便化・効率化	✓ ロボットや新技術(画像認識)によるごみの分別(4)
		✓ 分かりやすいごみ分別のPR・普及啓発(広報、歌を流すなど)(4)
		✓ 企業によるリサイクル資源の回収(2)
	節水、節電の徹底	✓ 節電、省エネをこころがける(6)
		✓ 水の再利用(1)
		✓ 脱炭素につながる行動についての普及啓発(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

3.地域のつながりの中で、持続可能な暮らしが定着したまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
コミュニティを元気にする	地域交流や市民活動の促進	✓ 企業と市民団体の協力・連携による環境活動(6)
		✓ 環境行動のインセンティブ(ポイント、クーポンの使える施設を増やす、外国人への普及)(5)
		✓ コミュニティに関する情報発信と、情報収集ツール(検索システム)(5)
		✓ ボランティア+団体+企業を市がもっとももっとつないでほしい(3)
		✓ 環境活動への参加を促進する制度・仕組みづくり(2)
		✓ 環境リーダー、ボランティアの活動支援(1)
		✓ 子どもと一緒にボランティア活動(1)
		✓ コミュニティ活動の場や参加の機会をつくる(1)
		✓ 地域限定のイベントでつながりをつくる(1)
	治安・地域の マナーの 改善	✓ コミュニティによる環境美化活動(自宅玄関から10m)(3)
		✓ 治安情報の提供(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

3.地域のつながりの中で、持続可能な暮らしが定着したまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
誰一人取り残さない	多様な立場の人の 交流・支援	✓ 人と人、人と地域の結びつきを強めていくイベント(5)
		✓ 「おたがいさま」が当たり前の社会(4)
		✓ 好きなことがたくさん持てるようにする(3)
		✓ 高齢者と子どもの交流拠点の創出(2)
		✓ 空き教室を活用した地域の居場所づくり(不登校、高齢者)(2)
		✓ 高齢者も分かるデジタルシステムにする(1)
		✓ 外国語対応(人材)(1)
	高齢者のケアや 子育て支援	✓ 小中学校を拠点とする地域コミュニティの構築(1)
		✓ 高齢者の交流拠点の拡充(カラオケ施設)(2)
		✓ ロボットによる介護(1)
		✓ 高齢者が相互支援できるコミュニティづくり(1)
		✓ 子育て世代が地域とつながるシステム(1)
		✓ 高齢者の声を聞くイベント(1)
		✓ 高齢者にプール券を配布(1)
		✓ 生涯学習の充実、高齢者のいきがい作り(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
地場産業を持続可能にする	工業の脱炭素化	✓ 企業の環境行動(脱炭素、環境にやさしい製品・サービス)が評価される仕組みづくり(5)
		✓ カーシェアリングの推進(行政と企業の連携)(4)
		✓ 企業によるリサイクル資源の回収(2)
	農業のスマート化、気候変動への対応	✓ オーガニック農業の普及と支援(学校給食で地産地消)(9)
		✓ 小水力発電(農業用水など)(4)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
市内で経済を循環させる	地産地消の推進	✓ 再生可能エネルギーで地産地消する施設やエリアを豊田市の魅力スポットに(5)
		✓ 再エネの電気しか使わない暮らし(2)
		✓ クリーンセンターでの再生可能エネルギー発電とFCV(燃料電池車)のパッカー車導入(2)
		✓ 小水力発電(2)
		✓ 地熱発電(エネルギーの地産地消)(1)
		✓ 地産地消の推進(1)
		✓ 学校で地産地消レシピづくり(1)
	地域の商店・企業の活性化	✓ 企業の環境行動(脱炭素、環境にやさしい製品・サービス)が評価される仕組みづくり(5)
		✓ 田舎のお店の集客・情報発信と後継者育成(5)
		✓ 働く環境の改善(柔軟な勤務時間、リモートなど)(5)
		✓ 古民家カフェ(2)
		✓ 商店街に若者が集まるしかけを(1)
		✓ 福利厚生を充実する企業に補助金(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
市の新しい魅力をつくる	地域資源を活かした新しいレジャーや観光の創出	✓ トヨタの技術を活用したレジャー施設(7)
		✓ 動物園・水族館をつくる(4)
		✓ スポーツ施設を作って健康増進(ボーリング、ゴルフなど)(3)
		✓ にぎわいの創出(e-Sports場)(1)
		✓ イベントによるにぎわいの創出(1)
		✓ 自然を活かしたレジャー施設(アクセス良い所に)(1)
	交流人口の増加と広域ネットワークの形成	✓ 外から移住したくなる補償制度(5)
		✓ 大学の誘致(都心部・駅前、農村部)(5)
		✓ イベントの情報発信・PR(インターネットでのライブ配信、学校での広報)(3)
		✓ ポイント、クーポンなどでイベント参加を促す(2)
		✓ 市外から来た人向けの動画配信(2)
		✓ 豊田市ポータルサイトをつくる(2)
		✓ 環境にまつわるトークイベントの開催(1)
		✓ メタバースで里帰りできる(1)

3.ワークショップまとめ

将来像の実現に向けた取組

4.地域資源を活かして経済発展していくまち

項目	主なアイデア ※()内は意見の総数	
市の新しい魅力をつくる	環境行政への 市民参加	✓ 他市へのインターンシップの仕組み化 自分の意見が市政に反映される体験(5)
		✓ 市政への市民参加(3)
		✓ 市民の意見を行政に反映する仕組みづくり(若者が来たくなる町は若者に聞く)(2)
		✓ 若者や子どもが学校の中で市政に参加できる仕組みづくり(2)
		✓ 市民への丁寧な説明(1)